

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 9 月 3 日 (2009.9.3)

【公開番号】特開 2008-30047 (P2008-30047A)

【公開日】平成 20 年 2 月 14 日 (2008.2.14)

【年通号数】公開・登録公報 2008-006

【出願番号】特願 2006-202768 (P2006-202768)

【国際特許分類】

B 2 3 K 35/26 (2006.01)

C 2 2 C 13/00 (2006.01)

C 2 2 C 13/02 (2006.01)

H 0 5 K 3/34 (2006.01)

【F I】

B 2 3 K 35/26 3 1 0 A

C 2 2 C 13/00

C 2 2 C 13/02

H 0 5 K 3/34 5 1 2 C

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 7 月 22 日 (2009.7.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 4】

S i : 0 . 0 0 1 ~ 0 . 0 5 w t % をさらに含有することを特徴とする請求項 1 , 2 または 3 に記載の無鉛ハンダ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

請求項 4 に記載の発明は、上記請求項 1 , 2 または 3 において、S i : 0 . 0 0 1 ~ 0 . 0 5 w t % をさらに含有することを特徴としている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

請求項 2 に記載の発明によれば、さらに C u を 0 . 0 5 ~ 5 . 0 w t % 添加することにより、液相温度を高めることができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 5 】

請求項 3 に記載の発明によれば、B : 0 . 0 0 1 ~ 0 . 1 w t % をさらに含有することにより、析出結晶の粗大化を防ぐことができる。

【 手 続 補 正 5 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 1 6

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 1 6 】

請求項 4 に記載の発明によれば、S i : 0 . 0 0 1 ~ 0 . 0 5 w t % をさらに含有することにより、析出結晶を緻密にすることができる。